

2026年9月4日

ローム株式会社

ロシアピアノイズムの継承者が奏でる“静寂の美”

「Ken Sato Memorial Concert Vol.6」開催決定

ローム株式会社(本社：京都市)が支援する公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション(京都市)は、「Ken Sato Memorial Concert Vol.6」を2027年1月16日(土)に開催いたします。

かつてピアニストを目指していたローム株式会社の創業者 佐藤研一郎(1931年～2020年)の意思を紡ぐコンサートとして一流の音楽家によるプログラムをお届けして参りました本公演のVol.6は、世界中で活動を行い後進の育成にも力を入れているロシアピアノイズムの継承者、イリヤ・イーティンが出演いたします。

美しい花々に彩られたステージとともに一流ピアニストの音楽をお楽しみください。



佐藤研一郎 (Ken Sato)

【公演概要】

- タイトル : **Ken Sato Memorial Concert Vol.6**
～ロシアピアノイズムの継承者が奏でる“静寂の美”～
- 日程 : 2027年1月16日(土) 14:00開演(13:20開場)
- 会場 : ロームシアター京都 サウスホール(京都市左京区岡崎最勝寺町13)
- 出演者 : イリヤ・イーティン
- 曲目 : ショパン/即興曲 第3番 変ト長調 Op.51
マズルカ イ短調 Op.17-4、八長調 Op.24-2 ほか
バラード 第4番 ヘ短調 Op.52
ラフマニノフ/前奏曲 嬰ハ短調 Op.3-2「鐘」、二長調 Op.23-4、ロ短調 Op.32-10 ほか
- チケット : S席/4,000円 A席/3,000円 (全席指定、消費税込)
2026年9月4日(金) otonowa(075-252-8255)他にて販売開始
- 主催 : 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
- ※詳細は添付リーフレットをご参照ください。

【今回の公演について】

本公演Vol.2に出演した、日本が世界に誇るショパンの大家であるピアニストの海老彰子が、前回のVol.5からVol.9までの計5公演をプロデュース。

今回は、ロシアピアノイズムを継承するイリヤ・イーティンが、豊かな音色とダイナミクスで「静寂に宿る美」をテーマにしたプログラムを構成し、ロシアを代表する作曲家・ラフマニノフと佐藤研一郎が愛したショパンの名曲をお届けします。

【イリヤ・イーティン コメント】



©Shigeto Imura

～静寂が記憶を呼び覚ますところ～

物語を語る音楽があります。

同時に、言葉が生まれる前から心に宿っていた何かを、そっと思い出させてくれる—そんな音楽もあります。

そのような作品が、日本の聴衆の前でひととき深く息づくように感じられるのは、そのためかもしれません。音と音のあいだに漂う静けさまでも音楽として受けとめる、日本の聴衆ならではの繊細な耳があるからです。静寂と節度の中に美が宿る京都では、ショパンの《マズルカ》は心の独白となり、その歩みはやがて《バラード第4番》へと静かに結実します。

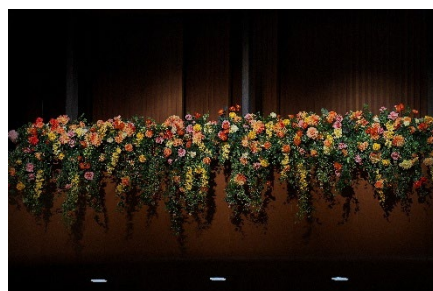
ラフマニノフの《前奏曲集》は、より雄大で根源的な響きを湛えながら私たちに語りかけます。それでいて、言葉では説明できない音楽だけが触れられるものは同じ—移ろいゆく感情の奥底には、時を超えて変わることのない何かが息づいている—のです。ほんのひととき、音楽は、記憶と静寂、そして目には見えないものたちが、静かに出会う場所になるのです。

【Ken Sato Memorial Concertについて】

かつてピアニストを目指していたローム株式会社の創業者 佐藤研一郎(1931年～2020年)は、経営者でありながら自身の愛する音楽文化の普及と発展に貢献するため、ローム ミュージック ファンデーションを設立し、数多くの支援活動を行ってきました。そして、その意思を末永く紡いでいこうと2022年よりスタートしたのが「Ken Sato Memorial Concert」です。「お客様にお喜びいただけること」を大切にしていた故人の想いに沿って、ロームシアター京都のステージを彩り豊かな花々で飾り、一流ピアニストによるプログラムをお届けしています。

【会場を彩り豊かな花々で装飾】

「Ken Sato Memorial Concert」は美しい花々で会場を彩り、お客様をお迎えいたします。



【これまでのKen Sato Memorial Concert】

開催年度	タイトル	出演者
2021	ROHM CLASSIC SPECIAL Ken Sato Memorial Concert Vol.1 ～仲道郁代 オール ショパン プログラム～	ピアノ：仲道郁代
2022	ROHM CLASSIC SPECIAL Ken Sato Memorial Concert Vol.2 ～ショパニスト海老彰子が贈る色彩のうつろい～	ピアノ：海老彰子
2023	Ken Sato Memorial Concert Vol.3 ～小山実稚恵が奏でるロマン派の巨人たち～	ピアノ：小山実稚恵
2024	Ken Sato Memorial Concert Vol.4 伊藤恵が弾くロマンの世界～渦巻く慟哭、甘美な夢～	ピアノ：伊藤恵
2025	Ken Sato Memorial Concert Special Program 2025 ～マルタ・アルゲリッチ & シンフォニア・ヴァルソヴィア～	ピアノ：マルタ・アルゲリッチ、小林愛実 指揮：クリスティアン・アルミンク 管弦楽：シンフォニア・ヴァルソヴィア 講演：アニー・デュトワ＝アルゲリッチ
	Ken Sato Memorial Concert Vol.5 ～世界の巨匠が奏でる極上のモーツァルト～	ピアノ：ミハイル・プレトニョフ 指揮：高関健 管弦楽：京都市交響楽団

以上

Ken Sato Memorial Concert

～ロシアピアノリズムの継承者が奏でる“静寂の美”～

Ilya Itin

イリヤ・イーティン [ピアノ]

2027 1.16 |土| 14:00 開演 (13:20 開場)

ロームシアター京都 | サウスホール |

S席(1階) 4,000円 / A席(2階) 3,000円

2026年9月4日(金) 10:00～発売開始(全席指定・消費税込)

【チケットお取り扱い】

- ロームシアター京都チケットカウンター 075-746-3201
- 京都コンサートホールチケットカウンター 075-711-3231
- Web購入可(共通) <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:331-495]
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:51603]
- イープラス <https://eplus.jp/otonowa/>
- Otonowa 075-252-8255
- エラート音楽事務所 075-751-0617

《お問合せ》otonowa 075-252-8255 (平日10:00-15:00)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※都合により内容等変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催: 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

KEN SATO MEMORIAL CONCERT VOL.6



© Shigeto Imura

Program

● ショパン

即興曲 第3番 変ト長調 Op.51
マズルカ イ短調 Op.17-4、ハ長調 Op.24-2 ほか
バラード 第4番 ヘ短調 Op.52

● ラフマニノフ

前奏曲 嬰ハ短調 Op.3-2「鐘」、ニ長調 Op.23-4、
ロ短調 Op.32-10 ほか

Ken Sato Memorial Concert

～ロシアピアノリズムの継承者が奏でる“静寂の美”～

Vol.6

経営者でありながら、文化人としても音楽文化の普及と発展に尽力した佐藤研一郎。
数多くの音楽文化支援活動を行ってきた故人の功績を称え、美しい花々に彩られたステージで一流の音楽家によるコンサートをお届けします。

Ken Sato Memorial Concert を企画するにあたって

プロデューサー:海老彰子

佐藤研一郎様を追悼するコンサートも、今回で6回目を迎えます。

クラシック音楽支援の礎を創られ、クラシック音楽に親しむことを広げようと尽くされた活動の一端を担えることを、光栄に思っております。

欧州各国はもちろん、アメリカ、カナダ、南米、アジア、中東などを巡る中、世界が分断される中において「音楽」がそれを越えること、そして自らの主張を声高に叫んだり、自身の殻に閉じこもりがちで社会において「音楽」に耳を傾け、そこに想いを馳せることの大切さを、強く感じます。

そのような中、今回はイリヤ・イーティン氏をお迎えします。

ロシアで学び、アメリカの音楽院で後進の指導にあたりつつ、世界中でコンサート活動とコンクールの審査員などを務めているピアニストです。高い技術力と経験、それらが導く深い洞察と唯一無二の音色一音のさらに奥にあるものを豊かに語りかけるイーティン氏の「音楽」に耳を傾けたいと思います。

京都のこの演奏会のために特別に用意されたショパンとラフマニノフのコンサートは、きっと皆様の心の奥に静かに響く、忘れたいひとときとなることでしょう。



© Akira Muto

海老彰子 Akiko Ebi

ロン＝ティボー・コンクール第2位グランプリ、ショパン・コンクール第5位入賞。パリと東京を拠点に、マルタ・アルゲリッチとのデュオなど国際的に演奏活動を展開。豊かな経験と深い考察力を備え、世界各国でのマスタークラス、2025年第19回ショパン・コンクール等主要国際コンクールで審査員を務めるなど、後進の育成にも力を注いでいる。日本ショパン協会会長。横浜市招待国際ピアノ演奏会企画委員長。令和6年度文化庁長官表彰を受賞。



《佐藤研一郎が所有していたピアノ》

佐藤研一郎と音楽 <1931年～2020年>

Ken Sato

半導体、総合電子部品メーカーであるローム株式会社の創業者、佐藤研一郎はかつてピアニストを目指し研鑽を続けていましたが、思うような結果が出ずにその夢を諦め、1958年に起業しました。音楽とは異なる道を歩み始めてからも音楽を愛する気持ちを持ち続けた佐藤は、音楽文化支援活動でその想いを形にしていきます。

会社を成長させる一方で、音楽を愛する気持ちを持ち続けた佐藤研一郎は、「音楽文化の支援活動」でその想いを形にしていきます。1965年『目で見る音楽史』出版に始まる様々な音楽文化支援活動を行い、1991年にこれらの活動を継続的かつ安定的に実施するために佐藤研一郎とローム株式会社が中心となって、音楽文化支援を行う『財団法人 ローム ミュージック ファンデーション』（現在は「公益財団法人」）を設立しました。

様々な事業を行う中で、佐藤は特に若い音楽家の支援に力を入れていました。それは自身が「音楽家になることの苦勞」を一番理解していたためです。そして「チケットを買って聴きに來てくれる人がいるから、舞台上で弾こうって気にもなる。音楽っていうのは、一人だけで上手に弾けるようになるわけじゃない。支援の目的として聴衆の輪を広げるのも大事なこと。」とも考えていました。その想いはいつまでも色褪せることなく、ローム ミュージック ファンデーションの理念に受け継がれ、現在も多くの音楽家への支援、そして音楽に親しんでいただく機会を増やすことへ繋がっています。



© Shigeto Imura

ピアニスト イリヤ・イーティン

Ilya Itin

突出した才能と卓越した技法を持つピアニスト。ロシアのエカテリンブルグ生まれ。モスクワ音楽院を最優秀で卒業。リーズ国際ピアノコンクール審査員全員一致の第1位受賞、並びに近現代音楽部門第1位、BBC放送聴衆賞受賞。ラフマニノフ国際コンクール第2位。ウィリアム・カペル国際ピアノコンクール第2位、クリーブランド国際コンクール第1位、並びにショパン賞受賞ほか多数受賞。クリーブランド管弦楽団、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、他多数共演。S.ラトル、N.ヤルヴィ、V.シナイスキー、C.ドホナーニ、Y.クライツヴェルク、M.プレトニョフ、井上道義他著名な指揮者とも共演。2012年～2013年、ピューリッツァー賞作曲部門受賞者Y.ワイナー氏が、彼のために書いたピアノソロ曲が、世界初演をすることになった。リンカーンセンターにてモーツァルトフェスティバル(ニューヨーク)、アルデベルグフェスティバル(イギリス)、トゥルースにてジャコビンスピアノフェスティバル(フランス)、サンクトペテルブルグにて、ゲルギエフ監修マリンスキー劇場フェスティバル(ロシア)、ヘルシンキ・ピアノフェスティバル(スウェーデン)他多数のフェスティバルに招聘され演奏会を行う。2017年からウラル大学に招聘され、2018年ウラル国際音楽コンクールピアノ部門の審査委員長を務める。14年にわたり武蔵野音楽大学ピアノ科教授を務め、日本音楽コンクール及び仙台国際コンクール、石川国際コンクールでは審査員を務める。現在、クリーブランドインスティテュート音楽院教授。

<https://ilyaitin.net/>

音楽を育み、豊かな文化を。

ローム ミュージック ファンデーションは音楽文化の発展・普及のためにこれからの音楽界を担う若い音楽家の育成や、音楽をより身近にするため多くのコンサートを開催・支援することで聴衆の拡大を目指しより良い社会づくりに貢献していきます。

事業の詳細はこちら

